

保護者等向け 放課後等デイサービス評価表

公表日:

事業所名: 放課後等デイサービス 放課後等デイサービスみらいずスクールたかつき2

対象人数(保護者)51人 回答者数 21人 回収 41.2%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない
環境・体制整備	①	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	19	1		1
	②	職員の配置数は適切であると思いますか。	19			2
	③	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	16	1		4
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	20			1
適切な支援の提供	⑤	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	20	1		
	⑥	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	21			
	⑦	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	21			
	⑧	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	21			
	⑨	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	21			
	⑩	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	19			2
	⑪	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	6	2	5	8
保護者への説明等	⑫	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	21			
	⑬	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	21			
	⑭	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	15	1		5
	⑮	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	21			
	⑯	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	19	1		1
	⑰	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	20	1		
	⑱	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	6	3	2	10
	⑲	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	16		1	4
	⑳	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	21			
	㉑	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	16	1		4
㉒	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	20			1	
非常時等の対応	㉓	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	7	1		13
	㉔	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	7	1	1	12
	㉕	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	14	1		6
	㉖	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	16	1		4
満足度	㉗	こどもは安心感をもって通所していますか。	19	2		
	㉘	こどもは通所を楽しみにしていますか。	16	4		1
	㉙	事業所の支援に満足していますか。	19	2		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		み・らいずスクールたかつき2		公表日		令和7年9月1日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3			児童10人に対し指導員2人以上の配置をしています。また、社会福祉士や教員経験のある者など、児童分野での経験と専門性を備えたスタッフを配置しています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	3				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	3			プログラムや支援内容、個別の支計画など、PDCAサイクルで振り返りをするようにしています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	2		社内での評価、外部からの評価をいただいて改善に務めます。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3			毎月1回、研修を行っています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	3				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	3			お聞きした情報を事業所内で共有し、計画を作成しています。中学生からは本人との面談もしています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3			必ず事業所内での会議を実施しています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3			毎回の利用後も目標に沿った振り返りをします。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3			共通の行動分析のシートを利用しながら、個別の計画に反映しています。また、検査結果をお持ちいただき、発達状況も把握するようにしています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3			年間の計画を作成しています。2か月前にプログラム詳細を決めて作成しています。また、月1回、前月の振り返りと次月の確認をする時間をとっています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3				
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	3				

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3			開始前にプログラム、来所児童、前回からの取り組みを確認しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3			必ず記録を取り、利用後に毎回振り返りを実施しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	3				
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しが必要かを判断し、適切な見直しを行っているか。	3			定期的なモニタリングに合わせ、随時、保護者様との面談も実施しています。また、中学生からは本人との面談もしています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	3				
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	3				
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3			児童発達支援管理責任者を基本とし、子どもの状況をよく把握しているものが参加しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3				
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。		3			送迎はしていないため、左記の確認等は保護者と行っている。支援に必要な情報共有は行っている。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		3			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3				必要時に共有している。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		3			他機関との情報共有に努めます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。		3			
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	1			
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3				
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3				法人内で、保護者様対象のセミナーを実施しています。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3				
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3				中学生からは、本人との面談も実施しています。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	3				
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	3				
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	1	2			法人内でのイベントで、親子参加にすることで、親御さん同士の交流の機会を作っています。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3				
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	3				

	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		3		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3			定期的に見直しを行います。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	3			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3			年1回、全職員を対象として研修を行っています。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	3			

## 自己評価結果等の公表にかかる届出書

(宛先)高槻市長

令和 7 年 8 月 31 日

法人名

特定非営利活動法人み・らいず2

代表者 職 氏名

代表理事 河内 崇典

### 1 事業所情報

事業所名	み・らいずスクールたかつき2			事業所番号	2750920841		
事業の種類別	<input checked="" type="checkbox"/>	児童発達支援	指定年月日	令和	5 年	7 月	1 日
	<input checked="" type="checkbox"/>	放課後等デイサービス	指定年月日	令和	5 年	7 月	1 日
	<input type="checkbox"/>	保育所等訪問支援	指定年月日	平成	年	月	日

### 2 公表状況

#### 《児童発達支援》

公表日	令和 年 月 日						
公表方法	<input type="checkbox"/>	ホームページ掲載 (URL )					
	<input type="checkbox"/>	情報公表システムに掲載					
	<input type="checkbox"/>	その他(具体的な方法: )					
公表内容	<input type="checkbox"/>	従業者の評価	<input type="checkbox"/>	保護者の評価	<input type="checkbox"/>	事業所の自己評価 (総括・改善内容)	
備考	対象児童がいないため、実施なし						

#### 《放課後等デイサービス》

公表日	令和 7 年 8 月 31 日						
公表方法	<input checked="" type="checkbox"/>	ホームページ掲載 (URL <a href="https://me-rise.com/">https://me-rise.com/</a> )					
	<input type="checkbox"/>	情報公表システムに掲載					
	<input type="checkbox"/>	その他(具体的な方法: )					
公表内容	<input checked="" type="checkbox"/>	従業者の評価	<input checked="" type="checkbox"/>	保護者の評価	<input checked="" type="checkbox"/>	事業所の自己評価 (総括・改善内容)	
備考							

#### 《保育所等訪問支援》

公表日	令和 年 月 日						
公表方法	<input type="checkbox"/>	ホームページ掲載 (URL )					
	<input type="checkbox"/>	情報公表システムに掲載					
	<input type="checkbox"/>	その他(具体的な方法: )					
公表内容	<input type="checkbox"/>	従業者の評価	<input type="checkbox"/>	保護者の評価	<input type="checkbox"/>	訪問先施設の評価	
	<input type="checkbox"/>	事業所の自己評価(総括・改善内容)					
備考							

担当者名(職名)	前田 綾子 (管理者)
連絡先電話番号	5054445498

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	み・らいずスクールたかつき2		
○保護者評価実施期間	2025年 8月 25日		2025年 8月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	51人	(回答者数) 21人
○従業者評価実施期間	2025年 8月 25日		2025年 8月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3人	(回答者数) 3人
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 9月 1日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫している。	活動プログラムについて、固定化されないように、スタッフ間で連携しながら、プログラム作成にあたっています。振り返りも必ず行い、改善点は次のプログラムに活かせるように、仕組み化しています。	繰り返し行うことで、定着をはかるプログラムもありますが、親御さんや子どもにも、なぜ同じようなことをするのか、プログラムの目的も明確に伝えていきます。
2	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われている。	親御さんとの面談や、中学生以降は本人との面談もしながら、目標設定も行い、支援を行っています。	
3	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができている。	教室の様子だけでなく、ご自宅や学校での様子をお聞きし、支援に反映させています。 送迎がない保護者様とはお会いする機会が少ないため、アプリを使って日々の療育の様子を伝えていきます。 また、一人ひとりに合わせて、視覚ツールを使ったり、見通しを立てる支援、環境設定をしています。	送迎のない保護者様とは一方通行の共有になることが多いため、ご家族さんからの情報をもう少しこまめに聞く機会を作りたいと思います。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がない。	地域の中に出るの取組がないため、プログラムで学んだことを実践する機会が必要だと感じています。	実践クラス利用者は、地域とのつながりも少しあるため、上手く活用したいと思います。
2	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	各種マニュアルを作成していたり、避難訓練も実施しているが、利用者さんへ伝わっていないところがあります。	事業所内でしていることの発信をしています。
3	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされているか。	保護者会やきょうだいの支援は積極的には実施できていない状況です。 法人内でのイベントなどで、親子参加などを意図的に実施したりはしておりますが、ご希望者のみになるので、一部の保護者様同士しかつながりがない状況です。	家族さんにも参加してもらえるような機会を作り、日々の子どもの取り組みを見てもらったり、関わり方を一緒に考える機会を作っていきます。